

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年9月25日

【2018年9月15日～2018年9月21日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。米国と中国の間の貿易摩擦は引き続き懸念されているものの、投資家のリスクセンチメントは良好で、新興国通貨は対円、対米ドルでおおむね上昇しました。

19日(現地、以下同様)にはCOPOM(金融政策委員会)が開催され、市場の大方の予想通り政策金利の据え置きが決定されました。ただし、インフレ見通しなどによっては緩和的な金融政策を解除していくとの文言が声明文に追加されています。

大統領選挙に関しては、最新の世論調査が公表されました。出馬を認められなかったルラ元大統領の代わりに立候補したアダジ氏の支持率上昇が鮮明となっています。現時点の世論調査を見る限りでは、ボウソナロ氏とアダジ氏が第1回投票で上位2名となりそうですが、どちらも過半数の獲得は難しく、両名による決選投票が行われる可能性が高そうです。

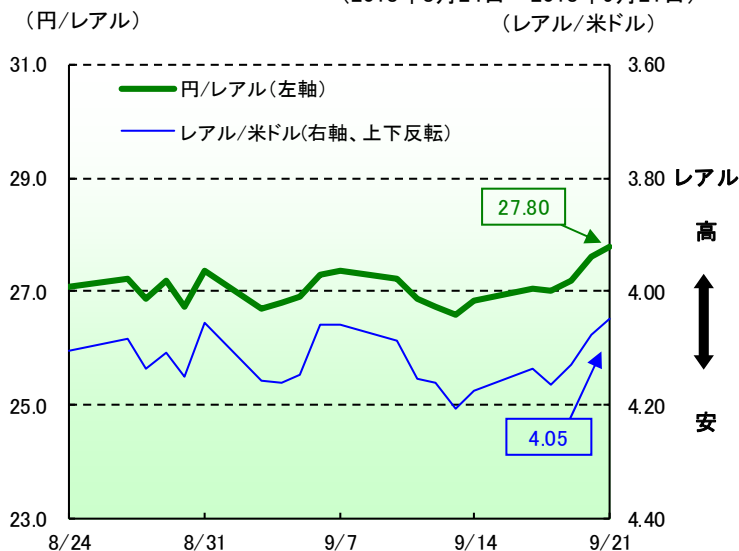
### 【2】今週の見通し

今週は、25日にCOPOMの議事録が、27日にインフレレポートがそれぞれ公表される予定です。今回のCOPOMにおいて、インフレの動向によっては利上げを実施する姿勢をブラジル中央銀行が示したこともあり、今後の金融政策を予想するうえでインフレに関する議論やインフレ見通しが注目されます。

大統領選挙に関しては、イボペが最新の世論調査を発表する見通しです。また、テレビでの討論会も予定されています。前述の通りボウソナロ氏とアダジ氏が決選投票に進む可能性が高まっているものの、ボウソナロ氏は不支持率も高いこと、また刺傷事件を受けた健康状態が懸念されることを考えると選挙結果は依然見通しにくい状況です。今後も選挙戦の動向から目が離せません。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年8月24日～2018年9月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年8月24日～2018年9月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>